

# KOCHI 2014 ROTARY 2015 CLUB SINCE 1937



## 週報



Weekly report

第3190回  
第3191回

2014年10月14日

2014年10月21日

2014年10月28日発行

### ● 会長挨拶

皆さんこんにちは。台風一過という挨拶は、今年はこの辺で最終回にしたい思いです。皆さんは、台風19号に伴う被害はありませんでしたか。観光関連では、予約の取り消しなど随分難儀をされたことと推察いたします。被害や影響のあった方々には心からお見舞い申し上げます。



10月に入り、東京オリンピック、東海道新幹線開通50周年記念番組を見ることができました。当時、私は小学校4年生で、日本が先進国の仲間入りできたことへの期待とアメリカ留学への夢を膨らませていた頃でした。アーカイブの後、10月10日には2020年開催予定の東京オリンピックの「2020年世界を変えよう」などとする大会の基本指針となるビジョンの骨子が全国の小中学生の募集作文やアスリートの意見をもとに作成され、発表されました。テーマは「スポーツには世界と未来を変える力がある。1964年、日本は変わった。2020年、世界を変えよう」です。そして3つの基本コンセプトは、1. 全ての人々が自己ベストを目指そう。2. 一人ひとりが互いを認めあおう。3. 未来につなげようという多様性の尊重と未来を担う世代を育成すると

いった内容となっています。また、2020年に向けて、まちなかのたたずまいや建物づくりに地域の資源である木材を活用し、安全性と信頼性を高めた技術により、2013年11月に横浜・港北ニュータウンに木造4階建の商業施設「サウスウッド」、銀座2丁目には木造5階建ての店舗兼集合住宅が誕生しています。国の方針として、現在の木材自給率28%を50%まで引き上げる目標を掲げており、2020年のオリンピックをきっかけに日本のまちなかは木造ビルが林立する風景に変貌するかもしれません。高知県においては、CLT工法が研究されており、いろいろな施設が建てられると聞いています。

地元、高知では岩井寿夫会員が実行委員長を務めている、第9回国際版画トリエンナーレ展がいの紙の博物館で10月11日から11月30日まで開催されます。ぜひ、この機会に世界から寄せられた作品をご覧ください。スポーツ、芸術、文化の秋、地域振興、各分野で指導的立場にある方への温かい支援、次世代を担う人たちの活躍の場づくりのお役に立てるのも私たちの職業奉仕の役割の一つだと感じつつ、明るく希望を放つ毎日であることを願います。

本日の卓話は、高知県立坂本龍馬記念館館長の森健志館長より「今、何故！龍馬か？」と題してお話を伺います。



### ■本日のプログラム [10月28日]

ゲストスピーチ

四国霊場第31番札所 竹林寺 住職

海老塚 和秀氏

「1200年目のお遍路と秘仏本尊平成のご開帳」

会 長	西山 彰一
副 会 長	野村 茂
幹 事	吉澤 文治郎
副 幹 事	小笠原 晃男
会報責任者	安藤 一臣

10月14日 例会

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「ハワイの結婚の歌」  
ピアノ演奏：山内るり会員



● **会長報告**

- ・10月24日は世界ポリオデーです。検索サイトを見ると、そこから寄附もできますので、ぜひご覧ください。
- ・10月19日、高知・フレスノ姉妹都市委員会提携50周年記念祝賀会が開かれます。長期交換プログラムもフレスノ市との交流で行われています。ご支援をよろしくお願いいたします。

● **幹事報告**

- ・例会終了後、定例理事会を行います。
- ・新しい会員名簿をお配りしました。個人情報の取り扱いにはくれぐれもご注意ください。
- ・地区協議会に参加された方には報告書をお配りしました。
- ・先々週の理事会で前田道雄会員と藤野清光会員の退会が承認されました。



● **職業奉仕委員会より**

来週は日高村の渋谷食品さんでの職場例会です。多くの出席をよろしくお願いいたします。



● **ゲストスピーチ**

今、何故! 龍馬か?

高知県立坂本龍馬記念館 館長 森 健志郎 氏

昨日の台風で、40年前の繁藤の災害を思い出しました。当時高知新聞の社会部の記者だった私は、一人の消防団員がお亡くなりになった現場を取材に、繁藤に行きました。取材を終えて帰ろうとした時、現場の記者が「森さん、今日はゆっくり取材して、ここから原稿を送りや」と言いました。そうしようかと思ったところへ一緒に行っていたカメラマンに「そらいかん、今日は組閣の日やき帰らないかん」と言われて帰ったのが10時40分ぐらい。私たちが現場を離れてわずか5分後にあの崩壊が起きて60人の方が亡くなりました。



人生、何が起きるかわかりません。龍馬もそうです。脱藩して勝海舟のもとに弟子入りして活動を始め、薩長同盟、大政奉還までいくのですが、その時に姉の乙女姉さんに書いた手紙では「さてもさても人間の一生は合点のいかぬはもとよりのこと・・・国のため、天下のために力を尽くしおり申し候、40迄は家に帰らんぜよ」と言っていますが、彼は33歳で亡くなってしまいます。

坂本龍馬記念館は全国からたくさんのお客さんが来られます。「龍馬伝」の前は年間13万人ぐらい。福山雅治が

龍馬をすると聞いた年は26万、「龍馬伝」が始まったら46万。キャパが300人の坂本龍馬記念館に46万、受け入れられる状態ではありませんでした。現在は16、17万という数字が動いています。龍馬のファンはリピーターが多い。それも5回、10回、20回という自分の人生の節目節目に来られて、龍馬の像に報告をして、相談して、約束して、記念館で龍馬の手紙を見て、龍馬の内面に触れて、外に出て風に吹かれて龍馬になって帰ります。

今、うちにある史料は1000点を超えました。その中には、京都の博物館などに持っていくと国の重要文化財となるものがありますので、下関や京都、東京等々で龍馬の展覧会をする時には、皆さん借りにきます。けれど、逆にうちが主催する展覧会に京都にある屏風を貸して欲しいと言っても貸してもらえません。温度、湿度、太陽等々を管理する設備が整っていないからです。心ゆくまで龍馬を堪能できる企画展などがないというのが、うちの学芸員の悩みの種です。重要文化財を貸し借りできない館では博物館とは言えない、本格的な博物館を造るしかない。そんな感じで、2年ほど前から、ようやく龍馬記念館のリニューアル構想が出始めました。新しい龍馬記念館を造る委員会の委員長に京都博物館の学芸委員長の宮川さんを迎えて、2017年、龍馬暗殺150年を機会に、本格的な博物館に向けて動き始めています。

今ある館はそのまま残してパフォーマンスの館にしよう



思っています。現在、龍馬記念館で企画展などをする時の目線は小学校6年生以上を対象にしています。坂本龍馬という言葉が教科書に出てくるのは小学校6年生の社会科に1行だけです。パフォーマンスの館は、幼稚園の年長組ぐらいの目線に下げ、アンパンマンミュージアムのような子どもたちが楽しめる広場的なものにしたいと思っています。入館したら幕末の人のお面を被って龍馬になったり、岡田以蔵になったりというような雰囲気のものにして、土日には必ずシアタールームで龍馬の映画をしている。そんな館にできたらと考えています。つまり、同じ桂浜という観光地の中に建つ、本格的な博物館とパフォーマンスの館が1つになった珍しい館になります。もう既に県外から聞き合わせなどもきています。今、桂浜に県外から来るお客様の滞在時間は30分です。バスで入ってきて龍馬の像を見て、浜まで下りずにそのままバスに乗って、大橋通でご飯を食べて、夜は道後というのが通常のパターンです。けれど、今度、桂浜に本格的な博物館ができれば滞在時間が長くなります。高知には多くの幕末関係の史跡がありますがバラバラです。これを一つにして1日高知で楽しむことができるようにしたら、高知の観光の力をアップすることにもなるのではないかと考えています。

県の方針として、明治180年に合わせて博物館もパフォーマンス館も両方一緒にどんとやってくれということで、8カ月くらい休館しなければなりません。8カ月の休館となると7万人を捨てることとなります。その7万人を取り戻すのは大変なことです。龍馬記念館の特徴として、県外の人盛り上げてくれるのですが地元の高知の人は余り来ない。入館者の5%以下です。そこを何とかしなければならぬというのが、うちの大きな課題です。その課題を1つ解決するのが、今度できる博物館ではないかと思っています。

今年2月、NHKから龍馬の手紙が出てきたので鑑定してくれませんかと言ってきました。出所はと聞くと、NHKのお笑いの番組で訪ねた家から出てきたと言います。今までそんなもので本物だった試しがないので、一部をFAXで送ってもらったところ、素人の私が見ても龍馬の字だということが分かりました。すぐに届けていただいて見ると本物で、今まで出ている142通の手紙とは違う143通目の手紙だったんです。しかもその内容が、日本の最初の大蔵大臣に福井の由利公正(三岡八郎)を推薦している後藤象二郎宛の手紙でした。三岡八郎の自伝には、新しい内閣で大蔵大臣をするのは私が最適だと書いていますが、自伝に書かれる内容は大体オーバーなものです。それが、龍馬のお墨付きで、大蔵大臣は三岡八郎しかないと推薦しています。こんなすごい推薦人はいません。この手紙は、福井の歴史博物館で置きたいと熱望していますが、今は持ち主の方がうちの方に寄託をしてくださっています。ただ、将来的に入札とかいうことになると高知は絶対に負けてしまいます。やはり熱意が伝わった方が勝ちだと思います。3年先の新しい博物館ができた時のメインとして、大政奉還を挟んだ龍馬のこの手紙ともう1通、高知の南さんが持っておられた後藤象二郎宛てた手紙の2つを並べて、海援隊の約規を置いて、龍馬の全てという宣伝をしたいと考えています。県民の皆さんの熱い思いが必要です。ぜひよろしく願いいたします。

	◇ 出席率 ◇				
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
10月14日	(-9)89	57	19	4	76.25
9月30日	(-7)92	68	4	13	95.29

## 10月21日 職場例会

### ● 会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は職場例会で50名を超えるメンバーを渋谷食品さんにお招きいただきまして、厚く御礼申し上げます。このプログラムの実施にあたって、職業奉仕委員会の渋谷委員長、泉田副委員長、そして古谷会員、川添昇会員のご尽力によりまして、このような例会を持つことができています。心より感謝申し上げます。

10月25日の土曜日には日本シリーズで阪神タイガースとソフトバンクの試合があります。多くの皆様方が期待している、とても楽しいスポーツの時期ではないかと思えます。

本日の職場例会を通じて、地域を支える素晴らしいお仕事をされている渋谷さんの生産の現場などを拝見しつつ、またたくさんのお土産をお買いあげいただけたらと思います。

### ● 会長報告

・10月18日(土) 今治RC80周年の記念事業に吉澤幹事と2人で参加してまいりました。19日(日)には、高知・プレスノ姉妹都市委員会50周年記念事業に中村長期交換委員長、高野会員、森本会員、私で参加してまいりました。姉妹都市ということで、ロータリーの交換プログラムが安定的に進んでいることをご報告します。



## ● 渋谷会員スピーチ



私どもの渋谷グループは昭和27年、渋谷金次郎が創設した63年目の会社です。平成13年、社長の他界により私が2代目として会社を預かっています。私どもの会社はサツマイモの加工食品がメインですが、以前は観光農園等々も行っていました。がどれも収支が合わ

なくて整理・精算して芋に集中することとしました。現在は、芋屋金次郎という形で直営も行っています。工場は高知に3工場、九州に2工場、営業所は高知、大阪、東京にあります。小売り部門は高知に2店舗、愛媛1店舗、東京1店舗、合計4店舗。グループの売上は42億8,500万円。正社員208名、短期社員110名。会社の企業理念は、1. 従業員の働く幸せづくりを追求します。2. お客様に喜んでいただける商品づくりを追求します。3. 地域社会の発展に貢献します。この3つを掲げています。

日本におけるサツマイモの生産量は100万トン。最大の生産地は鹿児島で40万トンが生産されています。私どもでは年間1万トンのサツマイモを加工し、イモケンピ、スイートポテト等、加工食品として全国に展開しています。メインは白芋の小金千貫というお芋で、イモケンピや芋焼酎になります。自然相手の商売のため天候等々によって左右されますので、安定的に品質のよい原料を作ることが課題です。サツマイモは光合成によりでんぷんをお芋に貯めるわけですが、本年8月は、鹿児島の日照時間が平年の60%しかなくでんぷんも少なく、さらに収穫量も上がりず現場ではイモケンピを作るのに苦労しています。サツマイモの収穫は9月、10月、11月に畑から取ってイモケンピの1次加工をするため、年間の売上・利益共にこの3カ月で決まってしまう。従って、この3カ月が非常に忙しくて人出が必要ですので、大手企業が安定して工場を構えて商いをするにはちょっと辛い部分があります。そこで我々のような中小企業が生き残っていけるということも言えます。

お芋の不作の時は、芋焼酎メーカーさんとお芋の取り合いになったりします。今まで過去3回、大きく不作の年があって原料がなくて売上がダウンして痛い目に遭いました。そこで、何とか海外でこの穴埋めができないかと考え、アジアからオセアニアまで旅行バックに苗を入れて、現地に植えて回ってきました。その結果、金時芋は何とか商売ベースに乗る物ができますが、小金千貫は海外のあらゆる所へ持っていきましたが、日本のように優れた物ができるところはありません。細いし、収穫量も鹿児島の畑の3分の1以下です。海外で年間を通じて暖かい場所だと12カ月お芋ができるだろうと簡単に考えたのですが、なかなかそうはいきません。現在、私どもは鹿児島、宮崎、高知からお芋を仕入れています。中でも世界一は鹿児島の大隅半島だと思っています。

渋谷食品の九州工場では1日100トン、高知工場は1日25

トンの生芋をイモケンピに加工しています。私どもが他社から仕入れている機械は包装機、計量機等で、ベースとなるお芋をカットする機械、揚げるフライヤーともに自社で造っています。また、スイートポテトは1日7万個を製造し、コンビニのローソン、ファミリーマート、全国のスーパーマーケット等に卸しています。後は味の素、学校給食などの専門的なところにも冷凍食品として卸しています。さらに、金時芋や紫芋を焼いて潰したペースト状のもので原材料の加工、原料として卸売り販売も行っています。

私どものグループはサツマイモの商品の加工品シェア50%、経常利益10%を目指していこうとしていますが、まだまだ経常利益10%に達していません。サツマイモの加工食品で、卸売り部門では45%以上のシェアとなっていますが、小売り業者はたくさんあって全国では100億を超える市場があります。関東には芋ようかん、鹿児島にはスイートポテト、沖縄には紅芋タルト等々、全体では200億の売りで、渋谷は43億ぐらいですから20%、これを何とか30%にしたいと取り組んでいます。市場価格というのは、大体卸売りでは決められていますので、それを拡大していくことはできない状況です。何とかこの卸売りから脱皮していきたい。また、卸売りの部分で伸びのある市場をつくっていきたい、競争のない市場を求めていこう、つくっていこうと思って取り組んでいるのが芋屋金次郎の直営です。

私、2代目として会社を預かってから、何とか創業者の金次郎という名前を残していきたいと考え、芋屋金次郎という直営店を始めました。以前阪急百貨店の営業をしていたこともあって、阪急百貨店の催事からこの芋屋金次郎の名前をスタートして、直営店を創って現在に至っています。この直営店とスーパーとどのように差別化していくか。それが揚げたての美味しさを味わっていただきたいというものです。私は、高校時代から工場アルバイトをしていました。大変な仕事で疲れてさぼります。工場でさぼりながら食べた、揚げたてのケンピのおいしさは忘れられませんでした。とにかく揚げたてに尽きます。何とかこの揚げたてを堪能していただきたいということで、直営店では揚げたてケンピを売るというスタイルをとっています。さらに、ネットであつたり通信販売であつたり、無店舗で直接お客さまと取り引きができる場面もつくっていきたいと考えています。

ロータリーの皆さんには、いろいろな面でお世話になっています。卸売り、広告、人材面、材料等々、本当にお世話になっています。引き続き応援をよろしくお祈りします。

◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
10月21日	(-9)89	49	20	11	75.00
10月7日	(-11)92	49	7	23	91.14



右側は広末幸彦会員のご子息！  
(澁谷食品でお勤め)



◇ 例 会 変 更 ◇

高知ロイヤルRC	10月28日	ロータリー休日(旭)	高知西RC	10月31日	ロータリー休日(三)
高知北RC	11月10日	職場例会(三)	高知南RC	11月13日	ロータリー休日(阪)
高知ロイヤルRC	11月18日→20日	夜間例会に変更(旭)	高知ロイヤルRC	11月25日→23日	植樹例会に変更(旭)

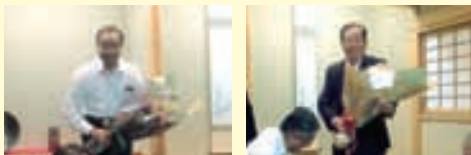
※サインメーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザ クラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱** [10月14日]

- 西山 彰一 前会員の池田勝重(かつしげ)様のお孫さん、耕一さんよりお便りをいただきました。2005年短期交換で米国に3週間滞在中、日本では当時BSEの関係で食べることができなかった吉野家の牛丼をおいそくに食べていた頃をなつかしく思い出しました。
- 古谷 純代 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。12日は丁度台風襲来騒ぎですっかり忘れていました。来年はプレゼント等を準備して記念日を迎えようと反省をしつつニコニコします。
- 脇口 宏 先週の夜間例会には家内共々参加させていただきました。家内は大変楽しみ、また以前からの知り合いの方が立派に成長されたことも知る事ができ、大変有意義な会でした。
- 岩井 寿夫 妻の誕生日に美しいお花をありがとうございました。西山会長、広報宣伝ありがとうございます。高知国際版画トリエンナーレ展は来月末まで開いています。どうぞご鑑賞ください。森館長、現役記者のころより何倍も面白い話、ありがとう。新記念館に大いに期待します。3件も申しわけありません。
- 筒井 善樹 妻の誕生日に今年もきれいなお花をありがとうございました。
- 岡本 光浩 本日はお誕生日を祝っていただきありがとうございます。昨日の13日が誕生日でしたが、単身赴任のため1人で家で過ごしていたところ、わざわざ台風19号がお祝いにかけてつけてくれて、夕方には素敵な虹をプレゼントしていただきました。とても思い出に残る48歳のバースデイを高知で迎えることができましたのでニコニコします。
- 吉原 馨 誕生日を祝っていただきありがとうございます。久しぶりの例会出席です。お詫びを兼ねてニコニコします。
- 中澤 陽一 結婚記念日を思い出させてくれるロータリーに改めて感謝し、ニコニコします。
- 泉田 優 結婚記念日をお祝いいただきましてありがとうございます。妻へ感謝を込めてニコニコします。
- 吉澤文治郎 隣の小笠原副幹事に脇腹を突つかれるまで結婚記念日を完全に失念しておりました。昨年、妻の誕生日を失念して、中田会員に叱られて以来の出来事です。本当に申しわけないです。
- 楠瀬 善之 誕生日&結婚記念日を祝ってもらって恐縮です。50歳を過ぎたあたりから、自分の正確な年齢があやふやになりつつありますが、(まだまだ若いと思っているのかな?) 57歳になってしまいました。結婚記念日も29回目です。来年は真珠婚だそうです。お互いによく頑張っています。本当にありがとうございました。

◇2013-14年度 ガバナー事務所慰労会◇

2014年10月22日(水)



関ガバナー、森本地区代表幹事、準備当初から2年あまり、本当にお疲れ様でした。高知クラブ会員一同、心から感謝申し上げます。

● 累計額 [10月21日現在]

ニコニコ箱	431,100円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	84,699円	ポリオ募金	136,500円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	----------

■ 次週のプログラム [11月4日]

新入会員スピーチ  
 (株)林釣漁具製作所 代表取締役  
 久場 幸信 会員

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>